

学校だより



岡山市立平井小学校
令和6年10月23日
[http://www.city-okaya
ma.ed.jp/~hirais/](http://www.city-okaya.ma.ed.jp/~hirais/)

平井小のホームページで「学校だより」をカラーで見ることができます。

学校教育目標：「明日を楽しみにできる学校」

9月30日放送朝会での校長の話

「得意なことを世の中のために」

みなさんは、老人ホームって知っていますか？歳を取ってくると、いつまでも元気でいらっしゃる方もいますが、中には、食べること、トイレに行くこと、お風呂に入ることなどが、スムーズにできなくなってしまう人もたくさんいらっしゃいます。老人ホームには、そういった他の人の手助けが必要なお年寄りの方たちがたくさんおられます。老人ホームに入っておられるお年寄りの方は、歳を取っても体に障害があっても自分らしく暮らしたいと願っています。老人ホームで働く職員の方は、お年寄りの方々が楽しみたいことをなんとか叶えてあげたいと思いながら働いておられます。その施設に入っておられるお年寄りの方が少しでも「気持ち良い」「うれしい」と感じられるように支えているのです。

そんな老人ホームで働いておられる方から、時々、校長先生に「お年寄りの方々に楽しんでもらいたいので、歌を歌いに来てください。」とお誘いがあります。校長先生は、もともとギターを弾きながら歌うことが大好きなので、お年寄りの方が喜んでくださるのならと、時々、ボランティアで老人ホームに歌いに行かせていただいています。9月にも老人ホームを訪れてギターを弾きながら歌を歌ってきました。たくさんのお年寄りの方がいらっしゃいました。百歳を超えている方も2名いらっしゃいました。

校長先生は、この日までに、どんな曲をどんな風に歌ったらお年寄りの方に喜んでもらえるかなあと、相手の気持ちを想像しながら曲を選んで練習しました。お年寄りの方は、校長先生の歌を聴きながら、笑ったり手拍子をしたり拍手をしたり、時には昔のことを思い出して涙を流したりしながら聴いてくださいました。自分の思いがお年寄りの方に伝わって、喜んでくれたことが一番うれしかった。

校長先生の得意なことはギターの弾き語りですが、みなさんもそれぞれ違った得意なことがあると思います。絵を描くこと、人を笑わせること、人に親切にできること、速く走ること、そんな自分の好きなことや得意なことで誰かの役に立てたら嬉しいですね。

自分の得意なことや友達の得意なことをどんどん見つけて、その得意なことを誰かのためにクラスや学校のために、世の中のためにどんどん使っていくてくださいね。相手の役に立つだけでなく、きっと自分まで幸せな気持ちになれますよ。ウェルビーイングですね。

平井学区連合町内会大運動会

9月29日（日）に、平井コミュニティ広場で「平井学区連合町内会大運動会」が行われました。子どもから大人の方まで一緒になって演技を楽しんだり応援をしたりしていました。また、スポーツ少年団の子ども達が中心となって演技の補助、準備、片付けなどをしてサポートしていました。学校で経験したことを地域の行事でも生かしている子ども達を誇りに思いました。



裏面もご覧ください

6年生修学旅行

10月3日（木）4日（金）の1泊2日で、6年生は奈良・京都・大阪方面へ修学旅行に行ってきました。天候には恵まれませんでしたが、子どもたちは、決まりとマナーをしっかり守って、自ら考えて行動し、自分だけではなくみんなが楽しめるウェルビーイングな修学旅行を創ろうとする姿が様々な場面で見られました。困っている友達に優しく声をかけたり、様々な人に気持ちのよい挨拶をしたりと、とても温かい雰囲気での修学旅行でした。小学校生活の思い出に残る修学旅行になったことと思います。

交通安全教室

10月9日（水）に交通安全教室が行われました。全校児童が交通安全のルールの動画を観て警察の方から交通ルールについてお話を聞きました。

下学年は「止まって、待って、飛び出さない（トマト）」と「道路で遊ばない、広がらない、ルールを守る（アヒル）」を合言葉に交通安全について知識を学び、上学年では「安全な速度、左側通行、ルールを守る（アヒル）」を合言葉に自転車の安全な乗り方を中心に教えていただきました。

10月の参観日・懇談

10月15日（火）に参観日がありました。お忙しい中、足を運んで子どもたちのがんばりを観てくださり大変ありがとうございました。参観授業の後の学級懇談の中で、「デジタルシティズンシップ」について総務省が出している動画を観ました。「デジタルシティズンシップ」とは、デジタル技術の利用を通じて、社会に積極的に関与し、参加することです。動画を視聴した後、メディアの利用の仕方などが話題になり、「自分をコントロールできるようにすることは大切だが、なかなか難しい面もある」「保護者だけでなく子ども達にも視聴させたい。」といった声も保護者の方からありました。平井小学校ではICTの活用を進めていく中で、メディアコントロールにも力を入れています。今後もご家庭と協力しながら、自己をコントロールしながらデジタルを健全により良く活用する子どもたちを育てていきたいと思っています。懇談会で視聴した動画「デジタルシティズンシップ（総務省 YouTube）」のQRコードを載せておきますので、ご覧いただき、ご家庭でもデジタルとの付き合い方についてお子様と対話をしていただけるとありがたいです。

デジタル・シティズンシップとは？	下学年：デジタルを使う時間は決めるべき？※上学年に向けた内容もあります。	上学年：ネットのやりとり保護者は介入すべき？※中高生に向けた内容もあります。
		